



# 坪内 涼二

## 県議会レポート VOL. 28

### ごあいさつ

2023年がスタートしました。昨年は引き続き、新型コロナウイルス感染症に悩まされる一年であるとともに、ロシアによるウクライナ侵攻や急激な円安の影響等による原油価格や原材料・資材価格等の上昇は、事業者の経営に打撃を与えました。また食料品等の生活関連物資の値上げは国民生活を直撃しています。

人口減少に加え、新型コロナや原油価格・物価高騰等のあらゆる危機にしっかりと対応し、笑顔あふれる島根づくりに本年も全力を尽くして参ります。

### 2月定例会日程

月	火	水	木	金
2/13 本会議	14 (休会)	15 (休会)	16 代表質問	17 一般質問
20 一般質問	21 一問一答	22 (休会)	23 天皇誕生日	24 一問一答
27 本会議	28 常任委員会	3/1 特別委員会	2 (休会)	3 本会議

### 2月定例会では一般質問を行います

任期最後となる2月定例会での一般質問は、下記の項目について質問予定です。

#### ■こども真ん中社会の実現について

昨年末に上京し、小倉将信内閣府特命担当大臣と面会しました。少子化対策や4月に創設される「こども家庭庁」等について意見交換を行いました。こども家庭庁の創設により、県のこども政策はどのように変化するのか、こども真ん中社会の実現について論戦を交わりたいと思います。

#### ■石見地域振興について

この4年間、江津を含めた石見地域の振興を大きな柱の一つとして、取り組んできました。丸山知事も石見の日を設け、石見地方の現場を歩いてこられました。県全体を見ても石見地域の置かれている状況は依然厳しく、石見振興の為には、具体的な施策に落とし込んでいく必要があり、任期最後の質問で取り上げます。

#### ■中山間地域の公共交通について

国土交通省地域交通課長を講師とした勉強会のなかで、国は交通を地域の暮らしと一体と捉え、医療、教育などの垣根を越えた「共創型交通」を推進しているとのことでした。路線バス等の枝の部分とタクシー等の葉の部分の連携が重要であり、中山間地域の共創型交通に県の認識を質します。



## 令和4年度補正予算の配分について

2022年度第2次補正予算(28兆9,222億円)が12月2日の参議院本会議で可決成立しました。国土交通省関係は2兆216億円で、そのうち防災・減災、国土強靱化の推進等として、1兆5,428億円が充てられています。江津市に関わる事業の配分状況は下記の通りです。地域の皆様と要望を続けてきた浅利地区の歩道整備や和木波子海岸の浸食対策に予算が措置され、前進が図られました。引き続き、地域の要望の実現と住民の皆さんの安全・安心の確保のため、防災・減災、国土強靱化の推進に努めてます。

### 道路

事業名	金額
福光・浅利道路	8億1,100万円
国道261号櫃原トンネル修繕	600万円
浅利渡津線江の川トンネル修繕	600万円
国道261号(谷住郷)法面修繕	1,000万円
川平停車場線後地地区	1億2,100万円
国道261号桜江2工区	5,000万円
浅利地区歩道整備	500万円
江津駅前バリアフリー対策	500万円

### 海岸

事業名	金額
和木波子海岸人工リーフ	8,000万円

### 河川

事業名	金額
直轄河川事業(江の川下流)	4億9,500万円
河川維持修繕事業(〃)	9,200万円
大規模特定河川事業(玉川)	5,000万円
ダムメンテナンス(八戸ダム)	5,000万円
八戸川河川改修	1,000万円
糸谷川外伐採掘削	5,500万円
岡田谷川2(砂防)	5,000万円
中上谷川(砂防)	900万円

### 港湾

事業名	金額
江津港導流堤改良	2億1,000万円

## 波積ダム建設事業の状況

新たに発見された断層等に対する補強対策に時間を要したことや、コンクリート打設スケジュールの見直し等により、工程に遅れが発生。本体建設工事は概ね今年度内に完了するものの、完了のために必要な試験湛水が令和5年10月頃開始になる見込みです。

事業の完了は試験湛水が完了する令和5年度末となる見込みです。

(降雨状況等により変動する場合があります。)



#### ■ 本体建設工事

令和4年9月に本体コンクリート打設が完了。引き続き天端橋梁、係船設備等を施工中。

#### ■ ダム管理設備工事

取水放流設備、管理所建築工事、通信警報観測設備を施工中。

#### ■ 関連施設工事

下流河川取付互換、用水路橋、給水設備を施工中。

